

# 交渉NEWS

東日本ユニオン東京地本 NO,59 2022年 8月 12日

## 8月10日、申6号の回答・交渉を行いました！

申6号は、4月25日に東京支社より提案された「変革2027の実現に向けた組織の再編」に対して、社員の不安、疑問を早急に解消することが、より良い職場・より良い会社を創造することに不可欠と考え5月9日に提出しました。

《申6号申し入れ内容と支社回答（抜粋）》

1、会社の持続的発展と社員の幸福を実現するために、十分な準備を整え施策を実施すること。

時代に変化に柔軟に対応するとともに、社員一人ひとりの働きがいの向上と生産性向上による経営体質の強化を通じて、安全・サービスの向上を図っていく考えであり、今後も必要な準備などを行っていく考えである。

2、職場内規・線区別取り扱いなど安全・業務施行に重要・不可欠な内容を継承・発展させること。

これまでの役割分担にとらわれない柔軟な働き方の実現により、安全・サービスレベルの向上を図っていく考えである。尚、必要な教育等は実施していく考えである。

3、一部見直しを行う現行の職場業務を示すこと。

現業機関と企画部門の業務分担を見直し、お客さまに近い場所で個所の判断でスピーディーに価値創造を続けていくために現業機関に権限移譲を行っていく考えであり、これまでの役割分担にとらわれない柔軟な働き方を実現していく。

4、各支社で担当している業務で「首都圏本部」に集約される内容を示すこと。

企画部門の業務については、必要に応じて柔軟かつ臨機応変に集約や見直しを行っていく考えである。また、系統や企画部門との垣根を超え、権限移譲によりスピーディーな事業運営を行っていく。

5、東京支社企画部門から現業機関に移管する業務を示すこと。

これまでの硬直的な仕事の垣根を超えた柔軟な働き方を実現していくために系統や事業分野を超えた業務を行うこととなる。

6、施策を遂行するために、現業機関の予算を十分なものとすること。

必要な予算措置を行っていく考えである。

7、施策を遂行するために、現業機関における企画部門の体制を強化すること。

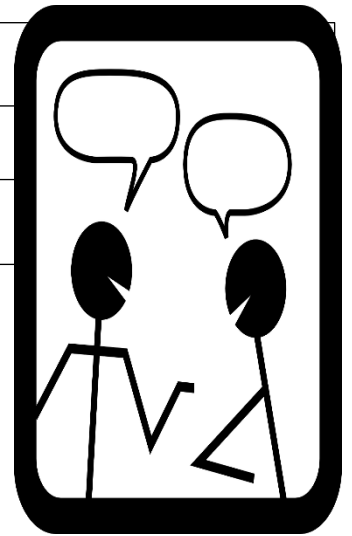
業務の運営に必要な要因は確保していく考えである。

8、職場内コミュニケーションの質を向上させ、「社員一人ひとりの活躍フィールドの拡大」と「新たな価値創造」を実現するために、社員一人ひとりへのフォローを具体的かつ確実にを行うこと。

必要な教育・訓練等は実施していく考えである。

9、社員の異動に際しては、社員の生活に十二分に配慮すること。

異動については、就業規則に則り取り扱うこととなる。



#### 《交渉での地本側の主な主張》

支社の回答には「職場」での具体的内容が全く見えない。

働きがいの向上というが、「働きがい」は社員一人ひとり異なる。

労働条件の向上は施策を担う社員に不可欠である。

社員の声を把握する職場でのコミュニケーションの質的向上を求める。

施策を運用する「支社」の方々にもっともっと「職場・仕事」を感じていただきたい。

“ローカルルール是正”に取り組んできた、「仮年休申し込み」など就業規則にもない内容で職場を経営するのか。

「社員周知資料」がすべてなのか。

職場の企画グループ（事務）に関して、現在担っている業務に変化はないか。

「お金ない！」では施策を担うことはできない。

「兼務」「〇〇委員会」などが社員の負担になってはいないか。

異動のタイミングと社員個々の生活「タイミング」が合致すれば良いが、個々の事情を十分考慮して頂きたい。

#### 《交渉での東京支社側の主な主張》

施策実施内容は、「会社説明資料」に記載されている。

社員周知確認、本人希望などは個人面談や日々の職場でのコミュニケーションで把握している。

様々な「共通フォーマット」を業種・職場の垣根を超えて作成し活用する。

運転職場での仮年休については、勤務作成者時の情報収集に役立つと考えている。

職場での担い手づくり、財源の確保などは相互の知恵だしなど喫緊の課題である。

今施策での職場企画グループ（事務）業務に関しての変化は考えていない。

鉄道業がベースであることに変わりはない。

異動などに関しては、「選択肢の限られた硬直的な考え・運用」とは考えていない。

#### 《交渉を終えて》

「変革2027完遂！」ということで、様々な施策が今展開されています。皆さんの職場でも“変化”を感じていると思います。会社的には「周知資料は配布した」「質問・疑問も聞かない」だから「施策」は社員周知され、展開され、その成果が上がる……。と考えているのですが、なかなか難しいと感じました。キーは職場にいるわたしたちです。

「組合員一人ひとりが日々の業務の中で感じる疑問・不安に着目し、その一つひとつを解決することを東日本ユニオンは忘れてはならない。」と改めて感じました。

労働条件・労働環境の向上は労働組合の使命です。

仲間たちと自分、そして家族の幸福実現に向けて奮闘をお願いします！

